

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2005-315966 (P2005-315966A)

【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-131237 (P2004-131237)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

G 0 3 G 21/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 15/20 1 0 2

G 0 3 G 21/00 3 7 2

G 0 3 G 21/00 5 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

1 は回転可能な第 1 像担持体としての電子写真感光ドラム（潜像担持体）であり、矢印 A の反時計方向に所定の周速度で回転駆動される。そして、回転に伴いその表面には、帯電装置 2、画像情報に基づいて露光する露光装置 3 等の周知の電子写真プロセス機器によって画像情報に応じた静電潜像が形成される。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

9 は回転可能な第 2 像担持体としての中間転写ベルトであり、複数の張架ローラ 10 ~ 14 に張架してあり、感光ドラム 1 の表面に当接させて 1 次転写部（1 次転写ニップ部）C 1 を形成させてある。この中間転写ベルト 9 は、感光ドラム 1 とほぼ同じ周速度で、かつ 1 次転写部 C 1 において感光ドラム面の移動方向に対して順となる矢印 B の時計方向に回動駆動されるになっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

一方、給紙機構部から給紙された転写材 20 はレジストローラ 17 にて所定のタイミングで転写定着部 C 2 へと供給され、バックアップローラ 13 に対して加圧ヒートローラ 1

6 が転写材 20 を挾持する。つまり、転写定着部 C2 では、バックアップローラ 13 と加熱された加圧ヒートローラ 16 で転写材裏面からトナー像表面からトナーを加圧することにより、トナーを塑性変形かつ半融・合体かつ転写材 20 にトナーを浸透させ、通過直後、すぐに冷却してトナーが固着することによりトナー像 t (第 2 像担持体上のトナー像) の転写材への転写と定着が同時に行われる溶融転写定着プロセスが行われる。一方、転写定着部 C2 を通過した中間転写ベルト 9 の像担持面側はベルトクリーナ 21 によってクリーニングされる。